

第39回国際福祉機器展 H.C.R.2012

HomeCare & Rehabilitation Exhibition



出展企業・団体の出展受付を開始しています！

出展申込受付期間 2012年 2/1 ~ 4/20まで

12万人の来場者があり、最新の福祉機器・福祉情報が得られる！

H.C.R.はアジア最大規模の福祉機器の専門展示会です。昨年は13か国・1地域より510社が出展し、高齢者・障害者(児)向けの、最新の福祉機器にかかわる情報の提供とともに、福祉・介護・リハビリに関連する動向を紹介しました。昨年の出展社アンケートでは96%が「出展して効果があった」と回答しています。その成果は、明確な目的をもつての来場者との交流の機会になっているからです。1973年より毎年開催し、今回で39回を迎えるH.C.R.は、引き続き福祉・介護分野の発展にさらに貢献してまいります。

H.C.R.出展のメリット

メリット1

多様な目的をもった来場者への情報発信・交流の場

昨年の来場者数は11万8,000人。車いす来場者が2千人を超え、福祉機器を利用している方、福祉施設・病院・企業関係者など多くの方々から製品・技術・サービスの情報を効果的、効率的に提供できます。企業等の活動展開、潜在的ユーザーの開拓に有効な機会です。

メリット2

福祉・介護関連企業全体の活性化

500社を超える福祉機器企業が一堂に出展します。福祉・介護分野関連企業全体が集うことでの展示規模と多様性は、業界の活性化を促進させます。さらに、マスコミや専門誌の取材も多く、福祉・介護関係はもとより、社会全体に関連情報が広がります。まさにH.C.R.のスケールメリットが付加価値を高めます。

メリット3

今求められている福祉機器が分かる

様々な立場の来場者の声が聞けます。高齢者は今後も確実に増え、在宅・福祉施設での福祉機器のニーズは量的・質的に高まっています。機器と技術を実際に見て、さわって、確かめることができる絶好の場です。さらに、新製品の発表、また大学や研究所の出展や来場者も多く、製品化に向けた産・学の連携も生まれています。

メリット4

国際的な情報発信と交流ができる

1986年に初めての国際展示会の開催、1992年からは毎年国際展示会として20年連続の開催となります。この間、国内に欧米の代理店、海外企業の日本法人も増え、毎年海外からの出展も定着しています。海外の福祉機器の動向を把握できるとともに、近年、アジア圏を中心に展示と団体での来場者が増え、商談の可能性も拡がりつつあります。

メリット5

多彩な国際シンポジウム・セミナーに幅広い情報・知識を得る

国内外の福祉・介護・保健・医療分野の課題をテーマとしたセミナー、福祉機器の選び方・使い方に関するセミナー、シンポジウムを展示会と同時開催します。介護・福祉や在宅サービス・リハビリ・医療・社会保障など、幅広い分野の情報・知識が得られます。「出展社ワークショップ」は、出展をもとにさらなるPR、リサーチ、ユーザーの確保などに効果的です。出展社が独自に企画・実施できるワークショップは、費用対効果からも一層有効なものとなります。

H.C.R 2012 開催概要

主催	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
会期	2012年9月26日(水)～9月28日(金)
会場	東京ビッグサイト東展示ホール
出展企業	約500社
来場者	約12万人(見込み)
入場者	無 料(登録制)
特別企画	■ 利用者・家族向け講座「福祉機器 選び方・使い方セミナー」の開催

出展社募集期間は
2012年2月1日(水)～
4月20日(金)です。

福祉機器の選び方・使い方についての知識や情報提供のため、「福祉機器 選び方・使い方セミナー」を開催するなど、利用者・家族向けに多彩なテーマでセミナーを開催します。

■ **福祉施設役職員・福祉機器企業関係者等向けのセミナーの開催**

福祉施設職員、福祉機器企業関係等への情報提供やスキルアップのためのセミナーを開催します。

■ **海外の保健福祉制度・施策に関するシンポジウムの開催**

海外の保健福祉制度・施策に関する知識や情報提供のため、国際シンポジウムを開催します。

■ **時代の変化に応じた特別企画を開催**

最先端技術を使用した「福祉機器開発最前線」コーナー、災害時に役立つ福祉用具を紹介する「ふくしの防災・避難用品」コーナーなど、多彩な企画・催事を開催していきます。

広報活動 ■ **福祉・介護サービス関係者との強固なるネットワークを活用**

多分野にわたる企業・団体はもとより、全国社会福祉協議会に組織される高齢者・障害者・児童関係の福祉施設・介護団体・病院・リハビリ施設・民生委員や老人クラブ等の全国のネットワークをもっての広報・案内により、現在の来場規模が確保されています。ふくしのふれあいネットワークを活用し、福祉機器の開発と普及を図っています。

■ **WEB サイト等広報宣伝効果**

昨年490万件のページビューがあった本会WEBサイトのさらなる活用とともに、DMハガキ80万枚、ポスター1万枚、展示会案内リーフレット15万枚以上を作成、配布します。全国社会福祉協議会所属の各社会福祉団体・施設や過去来場者約35万人への直接案内も行います。また、マスコミへのニュースリリースによる情報提供をはかり、広く社会への広報宣伝を強化していきます。

■ **福祉機器ガイドブックの発行**

全出展社情報、出展予定製品情報(有料)を掲載する福祉機器ガイドブックを発行し、広く企業・製品の紹介を行います。製品情報は公式サイトにも掲載し、どなたでもご覧いただくことができます。

出展をご希望される場合は、「出展案内請求票」(本会HPからダウンロードできます)に必要事項を記入し、①会社概要、②出展予定製品の内容がわかるパンフレット、チラシを添えて、下記H.C.R.2012事務局までFAXまたは郵送してください。製品を確認させていただいたうえで「出展案内」を送付いたします。

※ 「出展案内」添付の「申込書」が正式な申込書となります。

<H.C.R. 2012 事務局> 一般財団法人 保健福祉広報協会
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F
[Tel] 03-3580-3052 [Fax] 03-5512-9798
[URL] <http://www.hcr.or.jp> [E-mail] domestic2012@hcrjapan.org

H.C.R. 2012 の主な特徴

◆出展対象製品範囲を拡充します！

(1)コミュニケーションロボットを対象に

今年の H.C.R.では新たに「コミュニケーションロボット」を、出展対象製品に加えます。会話機能を有するもの、センサー等により対象者を認識し反応を示す機能をもつもの(外出時の戸締りの確認、認知症の改善)など高齢者・障害のある方々の日常生活における支援を目的とした製品等が新たな対象範囲となります。(しかし、従来どおり、癒しを目的とする「人形・ぬいぐるみ」などは展示対象外となります。)

(2)施設・在宅向け設備・用品への拡充

福祉施設等向けの設備等、在宅で介護等を行っている住宅向けの設備・用品について、新たに以下の製品を出展対象製品として追加しました。

太陽光発電機器、廃棄物のリサイクル機器、排水の浄化処理装置等の
「自然エネルギー・省エネルギー技術製品、エコ関連技術製品」

全自動掃除機、視覚・聴覚障害者等向けの機能を持つ AV 機器など
「高齢者・障害者向け家電製品」

災害発生時の
「防災・避難用品」、「自家発電・蓄電装置」

◆出展ゾーンの設定・名称を見直し、より来場者にわかりやすい会場づくりを行います！

「衣類・着脱衣補助用品ゾーン」「介護等食事・調理器具ゾーン」、「感染症等予防用品ゾーン」を新たに設定します。近年出展が増加している各製品分野を集中的に展示することで、より注目度を高め、来場者への効果的な製品 PR を具体化させます。

※H.C.R.2012 出展ゾーン変更内容。(その他、各ゾーンの詳細は右ページをご覧ください。)

H.C.R.2011	⇒	H.C.R.2012
「日常生活用品(衣類)」	⇒	「衣類・着脱衣補助用品」
「日常生活用品(食事)」	⇒	「介護等食品・調理器具」
「日常生活用品(その他)」	⇒	「日常生活支援用品」
「日常生活用品(家具)」	⇒	「福祉施設・住宅環境設備・用品」
「施設用設備・感染症等予防用品」	⇒	「福祉施設・住宅環境設備・用品」 「感染症等予防用品」

◆ブランド名出展での申し込みが可能です！

H.C.R.では、出展社が小間内の設営装飾物等に「他社の商品ブランド・ロゴ」等を表示する場合は、出展社以外の企業・団体が出展していると来場者に誤解を与えるような形で表示することは一切できません。

ただし、出展社が企業名・団体名ではなくブランド名で出展し、表示することができます。この場合、主催者が作成する装飾物、配布物、インターネット上の表記はすべてブランド名となり、企業・団体名は表示いたしません。ブランド名での出展を行う場合は、別途事務局へお問い合わせください。

出展ゾーン

◆製品カテゴリーごとに出展ゾーンを設定し、来場者が見やすい会場づくりを行います。



移動機器

■移動機器ゾーン

車いす、杖、歩行器、リフト、電動アシスト自転車など、高齢者・障害者の移動をサポートする製品を展示します。



福祉車両・関連機器

■福祉車両関連機器ゾーン

車いす用の福祉車両、障害者用運転装置、入浴用特殊車両など最新の福祉車両を紹介します。また、福祉施設の業務用車両、エコカーの展示も行います。



コミュニケーション機器

■コミュニケーション機器ゾーン

補聴器、拡大読書器、活字文書読上げ装置をはじめ、障害者向けの機能をもつ TV、PC、携帯電話などを展示します。また、緊急時の通報装置や外出時の戸締り確認などの見守りシステム、さらには、最新のロボット技術を使った高齢者・障害者向けのコミュニケーションロボットなども紹介します。



介護等食品・調理器具

■介護等食品・調理器具ゾーン

やわらか食、ソフト食など見た目は普通の料理と変わらない介護食品、高齢者・障害者向けに使いやすいように工夫された箸やスプーン、お皿などの食器、調理器具等を展示します。



福祉施設・住宅環境設備・用品

■福祉施設・住宅環境設備・用品ゾーン

福祉施設や在宅で介護等を行っている住宅に必要な設備、環境に配慮した製品を展示します。高齢者・障害者が使いやすい掃除機・洗濯機、イス・テーブルなどの家具、火災報知・消火設備、災害時の防災・避難用品のほか、太陽光発電などの省エネ・エコ製品、リサイクル機器、また介護職員用のユニフォームなども展示します。



感染症等予防用品

■感染症等予防用品ゾーン

空気清浄器や加湿器など、福祉施設等で必須となっている感染症予防のための関連機器を展示します。

◆上記のほかにも以下の出展ゾーンを設置します。

ベッド用品

入浴用品

トイレ・おむつ用品

衣類・着衣補助具用品

リハビリ・介護予防機器

義肢・装具

建築・住宅設備

在宅・施設サービス経営情報システム

日常生活支援用品

出版・福祉機器情報